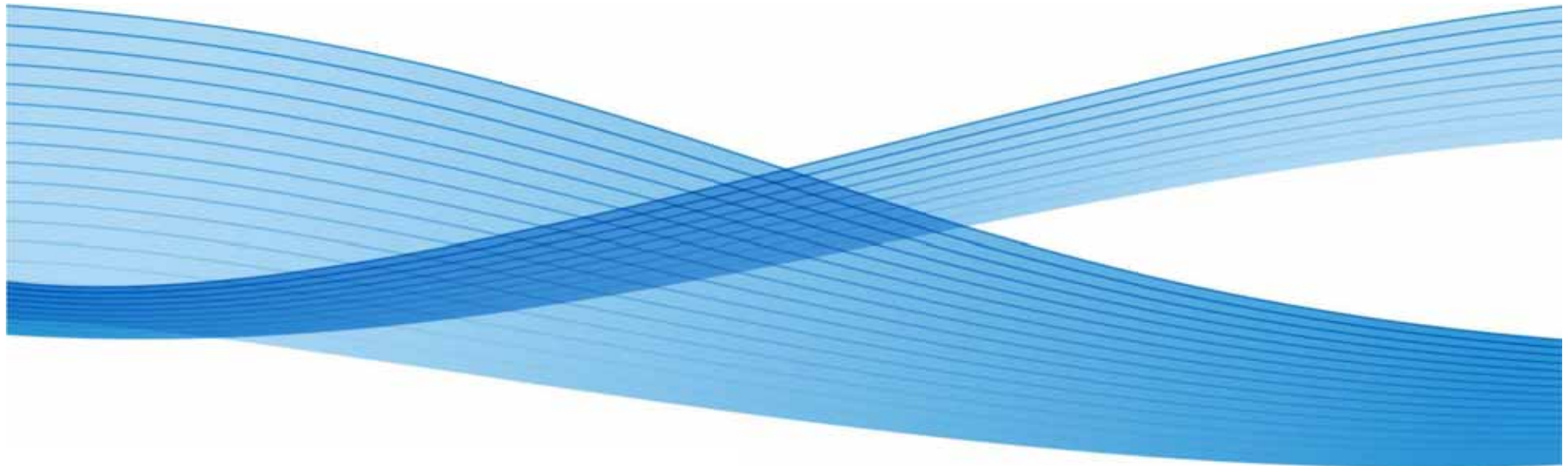


2013-14 年度 RYLAプログラム

概要書

～組織のリーダーとして、リーダーシップを発揮する～



実施スケジュール

10:00	10:30	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:30
イントロダクション	セッション1 あこがれのリーダー	セッション2 自分を知る ＜5人の私＞	セッション3 花を買っていきましょう	セッション4 ストローク	まとめ		
イントロダクション	リーダーの特性について考える	自分の持ち味を知る					まとめ
			周囲への影響力を知る				
・主催者メッセージ ・研修の目的、概要 ・自己紹介「今日の期待、自己PR」	・私のあこがれのリーダーを語る ・共通点は何？ ・リーダーに求められること	・実習「ある日の私」セルフチェック ・グループ討議 ・エゴグラム「5人の私」	・演習「花を買っていきましょう」 ・説明 ・グループ演習 ・グループ発表 ・グループ内振り返り ・周囲への影響力を知る	・モチベーションを考える「うれしかった体験」 ・ストロークとは	明日から取り組むこと		
昼食							

セッション概要

セッション	実施項目	実施内容	意図
イントロ	主催者メッセージ		
	研修の目的、概要		
	自己紹介 「今日の期待、 自己PR」	グループ単位で、一人あたり2分程度で、所属・氏名・プログラムへの期待・自己PRを話す。 *全員で実施するほうが望ましいが、1時間程度を要するためグループ単位での実施とする。	コミュニケーションのためのきっかけとなる、印象に残る自己PRの重要性に気付く
セッション1 あこがれのリーダー	私のあこがれのリーダーを語る 共通点は何？ リーダーに求められること	一人あたり3分間程度で、次の点について話す。 ・周囲の人物、歴史上の人物、著名人（経営者、スポーツマンなど）から“あこがれのリーダー”は誰か ・どんなところにあこがれるのか、具体的に語る（エピソードや、言動など） ・自分自身が取り入れたい点はどこか 発表後、他のメンバーは質問や感想を伝える。 全員の発表が終わった後、グループごとに“あこがれのリーダーの共通点”をまとめ、全体で共有する。	“あこがれのリーダー”を素材に、自分自身のリーダー観を言葉にして確認する 他者のリーダー観に触れる 共通のリーダー観を整理する

セッション概要

セッション	実施項目	実施内容	意図
セッション2 自分を知る 〈5人の私〉	実習「ある日の私」 セルフチェック グループ討議 エゴグラム 「5人の私」	日常的な場面を取り上げた4つの短い文章を読んで、そのときに自分が取るであろう行動を5つの選択肢の中から選ぶ。 自分はなぜそれを選んだのかを話しあう。 5つの選択肢は、それぞれ〈父親的な私〉〈母親的な私〉〈大人の私〉〈やんちゃな私〉〈いい子の私〉を表している エゴグラム（エリック・バーンが開発した交流分析手法） 〈父親的な私〉・・・ 責任感が強い、正論を言う 〈母親的な私〉・・・ 同情する、思いやる 〈大人の私〉・・・ 事実を集める、確かめる 〈やんちゃな私〉・・・ 感情を出す、自由に振舞う 〈いい子の私〉・・・ 協調的、用心深い	生まれもったもの、育った環境、年齢、経験などさまざまな要素でつくられる人間の性格を、5つの心の領域から捉える 人によって同じ場面に遭遇しても反応が異なることなどから、自我の状態のあり方の多様性に気付く。また、望ましい自我の状態を知る
セッション3 花を買っていきましょう	「花を買っていきましょう」 グループ演習・発表・振り返り 周囲への影響力を知る	20枚の情報カードをメンバーに均等に配布し、カードに書かれた断片的な情報を口頭で共有し、組み合わせ、最終的に、一枚の地図を完成させる。 演習後、演習中の自らの振る舞いや、メンバーの振る舞いについて振り返りを行う。 ・全ての情報を論理的に組み合わせることで一枚の地図が完成するが、実際には時間内に、また正しい地図を完成させることは難しい ・情報伝達、共有の難しさ、時間の制約、グループでの合意形成の難しさなどを体感する演習	演習を通じて、チーム活動における課題に気付く ・情報共有 ・時間管理 ・意思決定 ・リーダーシップ / フォロワーシップ （影響力の発揮） ・DZ カリソソグ

セッション概要

セッション	実施項目	実施内容	意図
セッション3 花を買っていきましょう (続き)	周囲への影響力を知る	<p>「花を買っていきましょう」のグループワークを通じて、どのようなリーダーシップ行動を発揮したかを、自分自身のセルフチェックを行い、かつ、メンバー相互にチェックを行う。</p> <p>自己の行動に対する認識と、周囲の目に映る認識から、周囲への影響力の発揮の仕方の傾向を確認する。</p>	<p>影響力の発揮状況を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できていること/できていないこと ・自己と他者の認識のギャップ
セッション4 ストローク	<p>モチベーションを考える 「うれしかった体験」</p> <p>ストロークとは</p>	<p>自分自身が組織のなかで取り組んだことに対して、「言われてうれしかったこと」、「してもらってうれしかったこと」を共有します。</p> <p>ストローク（他者に対する言葉による承認）の大切さについて学ぶ。</p> <p>・ストローク・・・挨拶や声かけなどの軽いストロークから、努力や成果を認める重いストロークまで、相手に対する言葉による承認のこと、ストロークの反対はディスカウントといい、挨拶をしない、話しかけられても顔をみないで返事をしないなどの状態を指す。ストロークの量が組織のコミュニケーションの状態に大きく影響を与える</p> <p>組織（あるいは職場、家庭など）に帰って、誰に、どのようなストロークをかけるかを共有する。</p>	<p>周囲からの承認がモチベーションの源泉になることを確認する</p> <p>ストロークの重要性に気付く</p>

実施イメージ「花を買っていきましょう」

